

事業者排出量削減報告書

| | | | | | | | |
|---|---|---|---------------|---------------|---------------|---------------|-------------|
| (宛先) 京都府知事 | | 令和4年 7月 29日 | | | | | |
| 報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市下京区塩小路通西洞院東入東塩小路町841番地の5 | | 報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 医療法人財団 康生会 理事長 武田 隆司 電話 075-361-1351 | | | | | |
| 主たる業種 | 病院 | 細分類番号 8 3 1 1 | | | | | |
| 事業者の区分 | 京都府地球温暖化対策条例施行規則 | <input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項第1号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第2号又は第3号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第4号 | | | | | |
| 計画期間 | 令和 2年 4月から令和 5年 3月まで | | | | | | |
| 基本方針 | エネルギー原単位で毎年1.1%程度の削減を目指す。 | | | | | | |
| 計画を推進するための体制 | 院長（理事）を委員長とする省エネルギー委員会において、目標計画の進捗管理を実施する。 | | | | | | |
| 温室効果ガスの排出の量 | 温室効果ガスの排出の量 | 基準年度 (29～1)年度 | 第1年度 (2)年度 | 第2年度 (3)年度 | 第3年度 (4)年度 | 増減率 | |
| | 事業活動に伴う排出の量 | 2,802.8 トン | 2,691.8 トン | 2,494.3 トン | | -7.5 パーセント | |
| | 評価の対象となる排出の量 | 2,817.2 トン | 2,633.3 トン | 2,435.8 トン | | -10.0 パーセント | |
| | 実績に対する自己評価 | R3年度は康生会武田病院の心カテ室（3台）、サーバ室（1台）、柳馬場（1台）の老朽化した空調機の入替を行った、また、CGSの発電量削減し、ピークカット中心にした。 | | | | | |
| 原単位当たりの温室効果ガス排出量等 | 事業の用に供する建築物の用途 | 原単位の指標 | 基準年度 (1)年度 | 第1年度 (2)年度 | 第2年度 (3)年度 | 第3年度 (4)年度 | 増減率 |
| | 医療 | 事業活動に伴う排出の量 (床面積 1/100) | 13.11 | 12.59 | 11.67 | 0.00 | -7.48 パーセント |
| | | 事業活動に伴う排出の量 () | | | | | パーセント |
| | 実績に対する自己評価 | R3年度は康生会武田病院の心カテ室（3台）、サーバ室（1台）、柳馬場（1台）の老朽化した空調機の入替を行った、また、CGSの発電量削減し、ピークカット中心にした。 | | | | | |
| 重点的に実施する取組の実施状況 | | 基準年度 (1)年度 | 第1年度 (2)年度 | 第2年度 (3)年度 | 第3年度 (4)年度 | 備考 | |
| | | 131.0 パーセント | 131.0 パーセント | 131.0 パーセント | | | |
| 具体的な取組及び措置の内容 | (2)年度 | R2年度は、康生会武田病院の厨房空調機（老朽化、3台）入替、BEMSコントロールの設定変更、老朽化ルームエアコン数台の取替、FCの洗浄を5台等を実施した。 | | | | | |
| | (3)年度 | R3年度は康生会武田病院の心カテ室（3台）、サーバ室（1台）、柳馬場（1台）の老朽化した空調機の入替を行った、また、CGSの発電量削減し、ピークカット中心にした。 | | | | | |
| | (4)年度 | | | | | | |
| 通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置 | 措置の内容 | 基本的に職員のマイカー通勤は認めていない。 | | | | | |
| | 上記の措置を実施した結果に対する自己評価 | 人命に係わる緊急性の医療職のみに使用を許可している。 | | | | | |
| 森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量 | 区分 | 第1年度 (2)年度 | 第2年度 (3)年度 | 第3年度 (4)年度 | 備考 | | |
| | 森林の保全及び整備によるもの | 0.0 トン | | | | | |
| | 地域産木材の利用によるもの | 0.0 トン | | | | | |
| | 再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの | 0.0 トン | | | | | |
| | グリーン電力証書等の購入によるもの | 0.0 トン | | | | | |
| | 温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの | 0.0 トン | | | | | |
| 合計 | 0.0 トン | 0.0 トン | 0.0 トン | | | | |
| 地球温暖化対策に資する社会貢献活動 | ライトダウンキャンペーンへの参加 | | | | | | |
| 特記事項 | 超過削減量の差し引き・R2年度（58.5 t）・R3年度（58.5 t）・R4年度（58.5 t） | | | | | | |

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。

2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。

3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。

4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。

5 「重点的に実施する取組の実施状況」とは、温室効果ガスの排出の量を削減するために重点的に実施した取組の実施率を地球温暖化対策指針で定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。